

一番不安なことは住宅の再建！

塩釜公民館
アンケート



チーム民医連で診察・足浴・マッサージ

4月11日、塩釜市公民館の避難所には、医師・看護師・薬剤師・技術系・事務からなる1チーム14人が訪問しました。風邪などで受診する人、足浴の後マッサージを受ける人など、避難所生活が1ヵ月になり、疲れがピークに達しているだけに大変喜ばれました。小学校などの始業式が21日から始まりますので、学校に避難している方は、別の避難所に移ることになります。

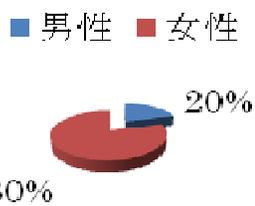
4月11日、塩釜市公民館の避難所で、避難所生活をしている人20人に、今一番不安なことをアンケート調査しました。

①性別では、男性2人、女性18人。②自宅の被災？では、津波被害を受けた人は19人、受けていない人は1人。(避難所には津波の影響を直接受けた塩釜市北浜や舟入、浦戸諸島の桂島から搬入された人などが多く、自宅を全て流されてしまった人もたくさんいました。)③今一番不安なことは？自宅の再建13人、仕事1人、家族2人、健康4人でした。

60代の男性は塩釜市の仮設住宅について、完成が60戸、建設予定が40戸の合計100戸の計画。仮設住宅の申し込みは済ませて、4月20日が発表の日と教えてくれました。ただし倍率はとても高く、はずれたらまた1~2か月は避難所での生活になるとのこと。また、70代の女性は家が全て流され跡形も残っていない、国や行政がきちんと助成をしてくれればいいのですが、と話していました。

<アンケート結果>

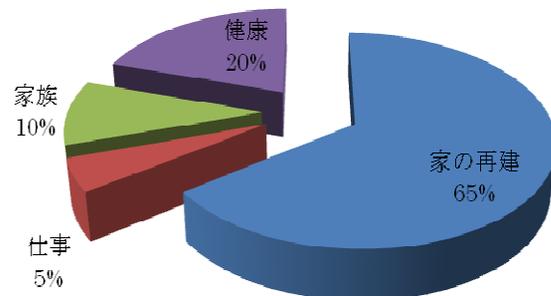
性別



被災して 自宅の被災？



一番不安なことは？



支援者の朝会で新入医局員を紹介



4月11日、全国からの支援者や医師などが参加する朝会で、今年度入職された医師7人が紹介されました。

坂総合クリニックの内藤孝所長は「震災という大変な時期に入職された皆さんは、今だからこそ学べることもある筈、一緒に頑張りましょう。」と挨拶されました。



明日避難所をでるといふ百音ちゃん(小2)、避難所に来てくれた人にお礼として、人が繋がっている絵を描いてくれました。